

平成23年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年4月7日

上場会社名 三光合成株式会社

上場取引所 大

コード番号 7888 URL <http://www.sankogosei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒田健宗

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 廣川修悦

TEL 0763-52-7105

四半期報告書提出予定日 平成23年4月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年5月期第3四半期の連結業績(平成22年6月1日～平成23年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年5月期第3四半期	25,987	2.4	1,370	1.9	1,145	9.5	1,588	45.8
22年5月期第3四半期	25,384	△22.4	1,344	—	1,045	—	1,088	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年5月期第3四半期	75.86	—
22年5月期第3四半期	52.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年5月期第3四半期	24,931	7,107	26.3	313.32
22年5月期	24,427	5,658	21.0	245.60

(参考) 自己資本 23年5月期第3四半期 6,558百万円 22年5月期 5,141百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年5月期	—	0.00	—	4.00	4.00
23年5月期	—	2.00	—	—	—
23年5月期(予想)	—	—	—	2.00	4.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年5月期の連結業績予想(平成22年6月1日～平成23年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,500	3.3	1,800	12.1	1,400	12.4	1,600	71.8	76.43

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年5月期3Q	21,121,569株	22年5月期	21,121,569株
② 期末自己株式数	23年5月期3Q	189,257株	22年5月期	185,965株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年5月期3Q	20,934,375株	22年5月期3Q	20,936,231株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の回復を背景とした設備投資の持ち直しや海外経済の改善による輸出の増加の動きが見られたものの、雇用や所得環境は引き続き厳しい状況にあり、円高の急激な進行や政府による経済対策の打ち切り、原油価格の上昇等による影響が懸念されるなど、予断を許さない状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、営業活動を強化するとともに、経費の削減や生産工程の改善による原価低減及び品質保証強化の活動を引き続き推進し、競争力の強化を図ってまいりました。

成形品部門におきましては、国内ではOA機器用部品が堅調に推移しましたが、車両部品は補助金の打ち切りによる影響もあり減収となりました。また、アジアでは車両関係の部品の受注が大幅に増加しました。一方、金型部門におきましては、国内でのOA機器及び車両向け並びに欧州での薄型テレビ向けの受注減により減収となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は25,987百万円（前年同期比2.4%増）となりました。利益面におきましては、売上高の増加と前連結会計年度に引続き、原価低減活動を積極的に進めた結果、営業利益は1,370百万円（同1.9%増）、経常利益は1,145百万円（同9.5%増）、四半期純利益は税効果会計による税金費用の減少もあり1,588百万円（同45.8%増）となりました。

セグメントの状況は、次のとおりであります。

① 日本

成形品部門において、OA機器用部品の受注は増加しましたが、車両関係の部品につきましては、補助金の打ち切りによる影響もあり減収となりました。また、金型部門ではOA機器及び車両向けの受注は減少しました。この結果、売上高は13,913百万円（前年同期比0.2%増）となり、セグメント利益は1,050百万円となりました。

② 欧州

車両用内外装部品や薄型テレビ部品の減産と金型の受注減少の影響もあり、売上高は2,102百万円（前年同期比13.0%減）となり、セグメント利益は46百万円となりました。

③ アジア

タイ・インドネシアを中心に自動車生産台数が大幅に増加し、車両用内外装部品や機能部品の受注が増加しました。この結果、売上高は9,971百万円（前年同期比17.9%増）となり、セグメント利益は562百万円となりました。

④ 北米

平成22年4月末で生産を終了し、売上高は0百万円（前年同期比100.0%減）、セグメント損失は13百万円となりました。

なお、部門別の売上の状況は、次のとおりであります。

		当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年6月1日 至 平成23年2月28日)	
部門別		売上高(百万円)	前年同四半期比(%)
成形品	情報・通信機器	6,346	111.1
	車両	16,023	105.2
	家電その他	2,332	88.7
成形品計		24,701	104.8
金型		1,285	71.1
合計		25,987	102.4

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、24,931百万円（前連結会計年度末比503百万円増）となりました。流動資産は14,687百万円と前連結会計年度末比1,233百万円増加しておりますが、受取手形及び売掛金の増加345百万円、たな卸資産の増加258百万円並びにその他資産の増加1,124百万円によるものであります。固定資産は10,244百万円と前連結会計年度末比729百万円減少しておりますが、これは、有形固定資産の減価償却による減少が主な要因であります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、17,824百万円（前連結会計年度末比944百万円減）となりました。これは、支払手形及び買掛金の減少151百万円並びに長期借入金の減少1,214百万円によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、7,107百万円（前連結会計年度末比1,448百万円増）となりました。これは、利益剰余金の増加1,462百万円によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は3,110百万円となり、前連結会計年度末より495百万円減少しました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は864百万円（前年同期比35.0%減）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益1,139百万円、減価償却費1,144百万円及び売上債権の増加438百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は558百万円（前年同期は獲得した資金353百万円）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出808百万円及び有形固定資産の売却による収入280百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は744百万円（前年同期比42.4%減）となりました。これは主に社債の発行による収入500百万円及び長期借入金の返済による支出1,389百万円によるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月期通期の業績予想につきましては、平成23年1月11日付「平成23年5月期第2四半期決算短信」にて公表しました業績予想に変更はありません。平成平成23年5月期通期は、売上高35,500百万円、営業利益1,800百万円、経常利益1,400百万円、当期純利益1,600百万円と予想しております。なお、平成23年3月11日に発生いたしました「東北地方太平洋沖地震」による業績への影響につきましては、開示すべき事項が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

2. その他の情報

（1）重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

（2）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

② 原価差異の配賦方法

原価差異の配賦方法については、標準原価を適用しているために原価差異が生じた場合、当該原価差異の棚卸資産と売上原価への配賦を年度決算と比較して簡便的に事業の種類別区分により実施する方法によっております。

② 税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

（3）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益がそれぞれ568千円減少し、税金等調整前四半期純利益が6,107千円減少しております。また、会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は12,929千円であります。

② 表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,110,398	3,606,099
受取手形及び売掛金	8,149,027	7,803,046
商品及び製品	462,671	443,138
仕掛品	761,746	579,844
原材料及び貯蔵品	415,094	357,777
その他	1,788,154	663,348
流動資産合計	14,687,092	13,453,255
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,686,379	4,014,201
機械装置及び運搬具(純額)	2,275,716	2,491,571
土地	2,122,975	2,168,458
建設仮勘定	464,047	22,252
その他(純額)	697,137	1,192,558
有形固定資産合計	9,246,255	9,889,043
無形固定資産		
その他	66,556	78,424
無形固定資産合計	66,556	78,424
投資その他の資産		
投資有価証券	641,760	653,588
その他	290,283	353,687
投資その他の資産合計	932,043	1,007,275
固定資産合計	10,244,856	10,974,742
資産合計	24,931,948	24,427,998

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,086,254	6,238,006
短期借入金	1,336,371	1,137,136
1年内返済予定の長期借入金	2,031,658	2,236,317
1年内償還予定の社債	100,000	—
未払法人税等	82,471	189,366
その他	2,005,254	1,795,287
流動負債合計	11,642,009	11,596,114
固定負債		
社債	400,000	—
長期借入金	5,256,520	6,266,750
退職給付引当金	80,433	61,596
役員退職慰労引当金	96,012	96,012
負ののれん	3,729	13,084
その他	345,792	735,449
固定負債合計	6,182,487	7,172,892
負債合計	17,824,497	18,769,007
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,890,800	1,890,800
資本剰余金	1,742,393	1,742,393
利益剰余金	4,027,954	2,565,319
自己株式	△38,711	△38,087
株主資本合計	7,622,436	6,160,425
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	265	△4,988
為替換算調整勘定	△1,064,091	△1,013,621
評価・換算差額等合計	△1,063,826	△1,018,610
少数株主持分	548,841	517,175
純資産合計	7,107,451	5,658,991
負債純資産合計	24,931,948	24,427,998

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成22年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)
売上高	25,384,305	25,987,503
売上原価	21,036,074	21,547,494
売上総利益	4,348,231	4,440,009
販売費及び一般管理費	3,003,957	3,069,594
営業利益	1,344,274	1,370,415
営業外収益		
受取利息及び配当金	11,309	14,075
持分法による投資利益	13,092	35,066
スクラップ収入	18,292	—
その他	31,054	77,815
営業外収益合計	73,748	126,956
営業外費用		
支払利息	273,403	213,859
為替差損	—	96,039
その他	99,151	42,447
営業外費用合計	372,555	352,346
経常利益	1,045,467	1,145,025
特別利益		
固定資産売却益	278,525	76,240
スワップ差益	—	13,503
特別利益合計	278,525	89,744
特別損失		
固定資産売却損	21,996	3,338
固定資産除却損	13,509	26,654
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	5,539
投資有価証券評価損	—	21,716
関係会社清算損	—	28,497
特別退職金	16,694	—
スワップ差損	502	—
その他	—	10,022
特別損失合計	52,703	95,768
税金等調整前四半期純利益	1,271,289	1,139,001
法人税等	91,875	△509,075
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,648,076
少数株主利益	90,421	59,831
四半期純利益	1,088,991	1,588,244

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年6月1日 至 平成22年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年6月1日 至 平成23年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,271,289	1,139,001
減価償却費	1,115,686	1,144,124
持分法による投資損益(△は益)	△13,092	△35,066
退職給付引当金の増減額(△は減少)	16,300	18,836
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△16,303	—
受取利息及び受取配当金	△11,309	△14,075
支払利息	273,403	213,859
有形固定資産売却損益(△は益)	△256,528	△72,902
有形固定資産除却損	13,509	26,654
投資有価証券評価損益(△は益)	—	21,716
為替差損益(△は益)	39,065	96,039
関係会社清算損益(△は益)	—	28,497
スワップ差損益(△は益)	502	△13,503
売上債権の増減額(△は増加)	△1,467,173	△438,370
たな卸資産の増減額(△は増加)	115,731	△274,610
その他資産の増減額(△は増加)	30,961	△711,468
仕入債務の増減額(△は減少)	619,389	△38,191
その他負債の増減額(△は減少)	△106,481	221,316
その他	△22,673	△60,462
小計	1,602,278	1,251,396
利息及び配当金の受取額	11,309	14,075
利息の支払額	△243,049	△190,910
法人税等の支払額	△41,453	△210,500
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,329,085	864,060
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△456	△468
有形固定資産の取得による支出	△358,655	△808,341
有形固定資産の売却による収入	781,160	280,121
その他	△68,589	△29,680
投資活動によるキャッシュ・フロー	353,458	△558,369
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	162,823	291,292
長期借入金の借入れによる収入	400,000	186,900
長期借入金の返済による支出	△1,621,171	△1,389,550
社債の発行による収入	—	500,000
リース債務の返済による支出	△233,834	△173,704
配当金の支払額	—	△125,610
少数株主への配当金の支払額	—	△33,600
自己株式の取得による支出	△136	△624
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,292,319	△744,896
現金及び現金同等物に係る換算差額	△111,345	△56,495
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	278,877	△495,701
現金及び現金同等物の期首残高	2,167,197	3,606,099
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,446,075	3,110,398

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年6月1日 至 平成23年2月28日）
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年6月1日 至 平成22年2月28日）

	成形品 (千円)	金型 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	23,576,970	1,807,335	25,384,305	—	25,384,305
(2) セグメント間の内部売上高	—	—	—	(—)	—
計	23,576,970	1,807,335	25,384,305	(—)	25,384,305
営業利益	1,608,198	21,939	1,630,137	(285,862)	1,344,274

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品

事業区分		主要製品
成形品	情報・通信機器	定着器ユニット、スキャナー、トナーカートリッジ、インクタンク他
	車両	ボデーバルブ、インパネ、バンパー、ハウジングギヤ、タンク他
	家電その他	フロントパネル、フィルター枠、ファン、手洗器、飲料用キャップ他
金型		プラスチック成形用金型

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年6月1日 至 平成22年2月28日）

	日本 (千円)	欧州 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	13,886,096	2,417,436	8,461,136	619,635	25,384,305	—	25,384,305
(2) セグメント間の内部売上高	649,920	435,427	920,361	—	2,005,708	(2,005,708)	—
計	14,536,016	2,852,863	9,381,498	619,635	27,390,014	(2,005,708)	25,384,305
営業利益又は営業損失(△)	1,054,982	18,932	626,902	△70,679	1,630,137	(285,862)	1,344,274

(注) 1. 地域の区分は、地理的接近度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する地域の内訳は次のとおりです。

- (1) 欧州・・・・・・英国、オランダ等
- (2) アジア・・・・・・シンガポール、タイ、インドネシア、マレーシア、中国等
- (3) 北米・・・・・・米国等

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年6月1日 至 平成22年2月28日）

	欧州	アジア	北米	計
I 海外売上高 (千円)	2,421,539	8,816,421	621,862	11,859,823
II 連結売上高 (千円)	—	—	—	25,384,305
III 連結売上高に占める海外売上高の割合 (%)	9.5	34.7	2.5	46.7

(注) 1. 地域の区分は、地理的接近度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する地域の内訳は次のとおりです。
- (1) 欧州・・・・・・英国、オランダ等
 - (2) アジア・・・・・・シンガポール、タイ、インドネシア、マレーシア、中国等
 - (3) 北米・・・・・・米国等
3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループは、国内外において車両分野、情報・通信機器分野及び家電その他分野向けにプラスチック成形品並びにプラスチック成形用金型の製造販売を主要な目的として、事業活動を展開しております。

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。各々の現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、生産・販売体制を基礎とした地域別セグメントから構成されており、「日本」、「欧州」、「アジア」及び「北米」の4つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年6月1日 至 平成23年2月28日）

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	欧州	アジア	北米	計		
売上高							
(1)外部顧客への売上高	13,913,102	2,102,355	9,971,977	67	25,987,503	—	25,987,503
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,164,167	—	716,435	—	1,880,603	△1,880,603	—
計	15,077,270	2,102,355	10,688,412	67	27,868,106	△1,880,603	25,987,503
セグメント利益又は損失(△)	1,050,541	46,490	562,326	△13,775	1,645,582	△275,167	1,370,415

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去4,236千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△279,404千円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年6月1日 至 平成23年2月28日）

該当事項はありません。